

2018年9月期連結決算 セグメント別損益及び貸借対照表説明

取締役常務執行役員 池見 賢

2018年11月16日

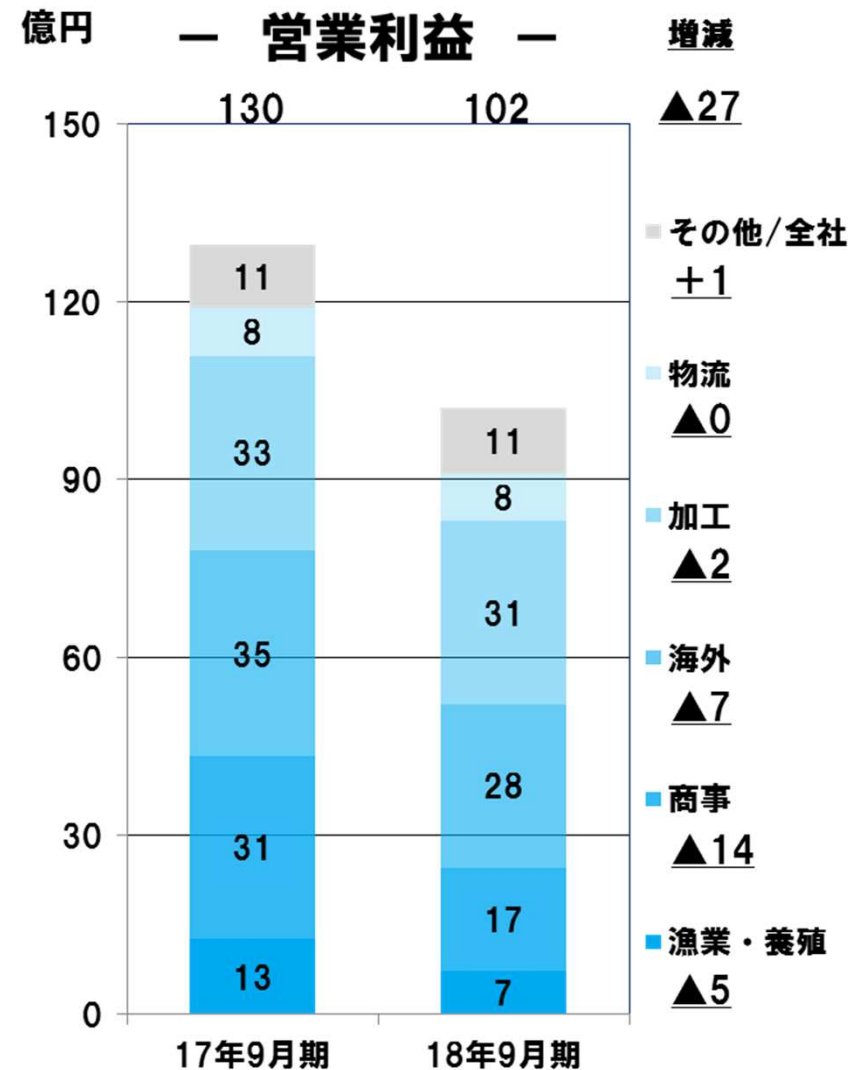
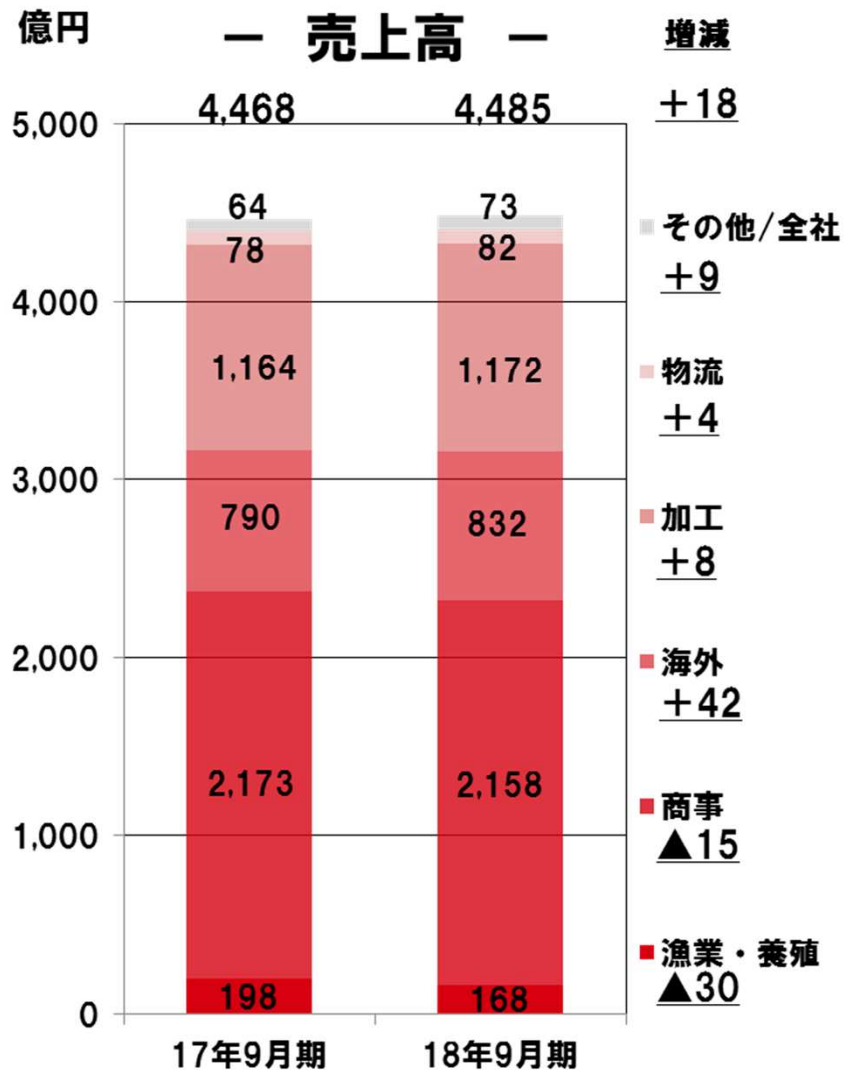


1. 連結損益計算書

(単位:億円)

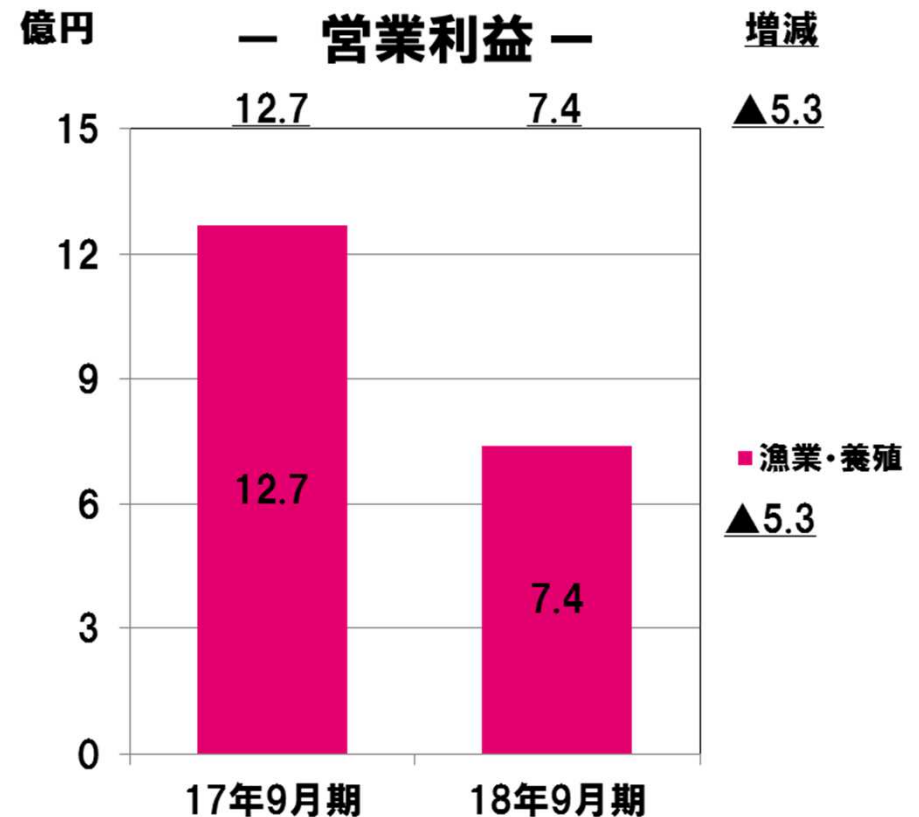
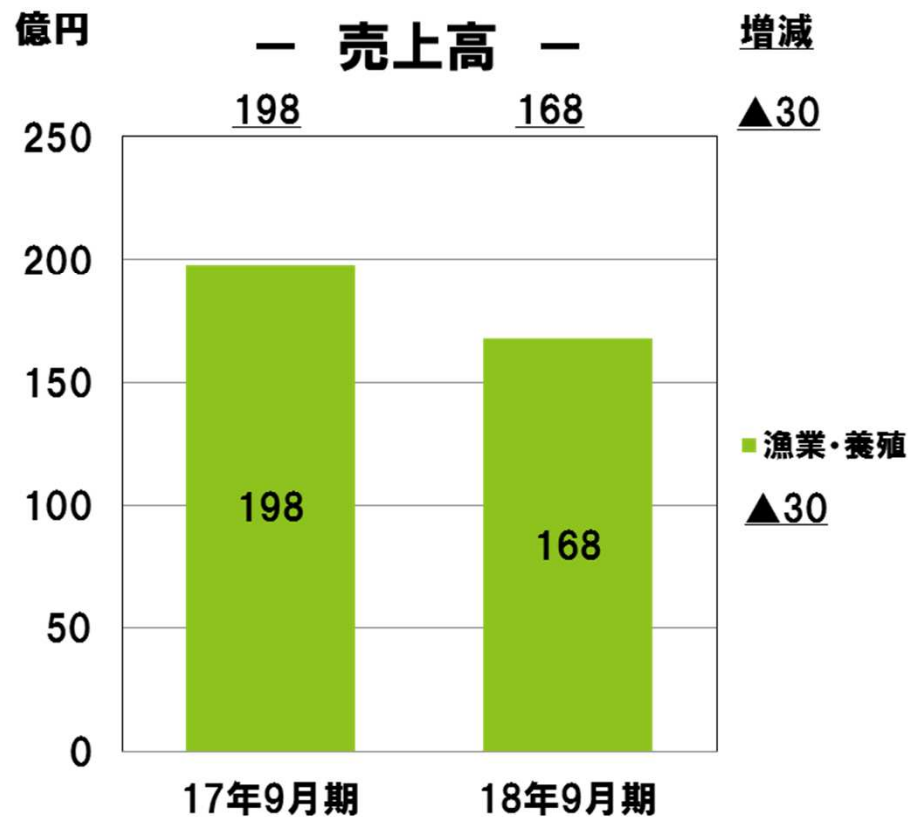
	18年9月期	17年9月期	増減	
売上高	4,485	4,468	18	
売上原価	3,874	3,839	34	
売上総利益	612	628	17	
販売費・一般管理費	510	499	11	
営業利益	102	130	27	
営業外収益	29	32	3	
営業外費用	12	11	1	
経常利益	119	151	32	【特別利益】
特別利益	26	2	24	関係会社出資金売却益 9億円
特別損失	7	8	1	受取保険金 12億円
税金等調整前四半期純利益	138	145	7	
法人税等	43	39	4	
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	14	7	
親会社株主に帰属する四半期純利益	88	92	4	

2. セグメント別 売上高 / 営業利益



3 - 漁業・養殖セグメント

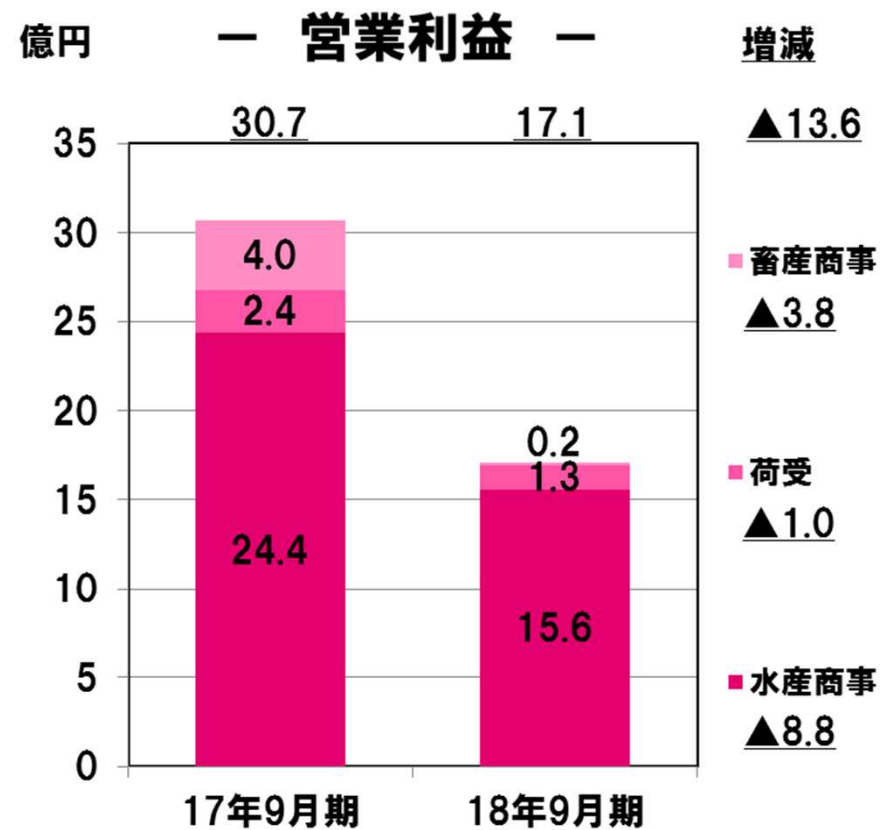
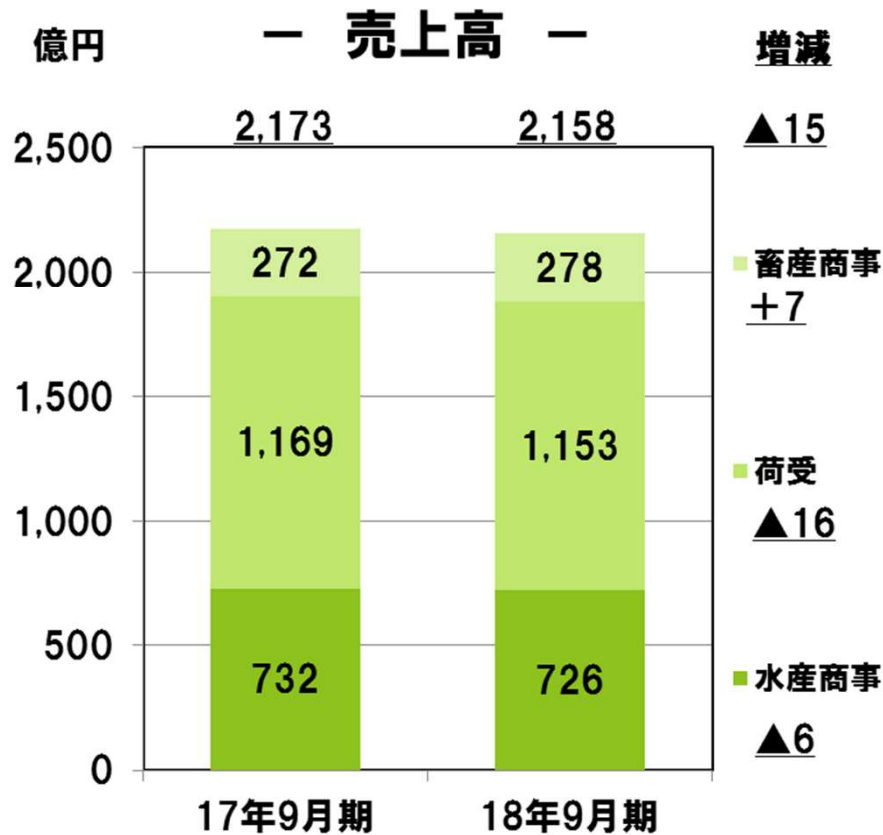
事業概況：
度重なる台風の影響によるクロマグロ出荷減およびカツオ取扱減により減収、マグロ・カツオの魚価安による利益率低下により減益。



3 - ．商事セグメント

事業概況：

[水産商事] 魚価高や円安によるコスト増の影響もあり、売上高は前年並みながら減益。
 [荷受] 夏場の天候不順による鮮魚取扱い高の減、および冷凍魚の魚価高を売価に転嫁できず、減収減益。
 [畜産商事] 牛肉・豚肉・加工品で取扱増も、牛肉・豚肉・鶏肉の利益率低下により、増収減益。

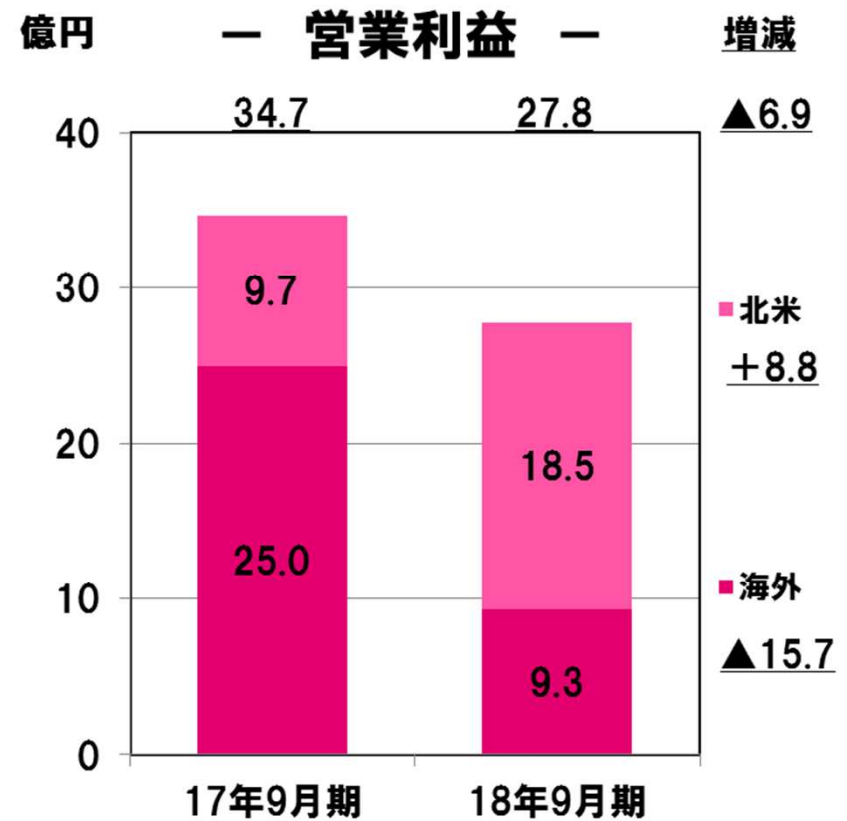
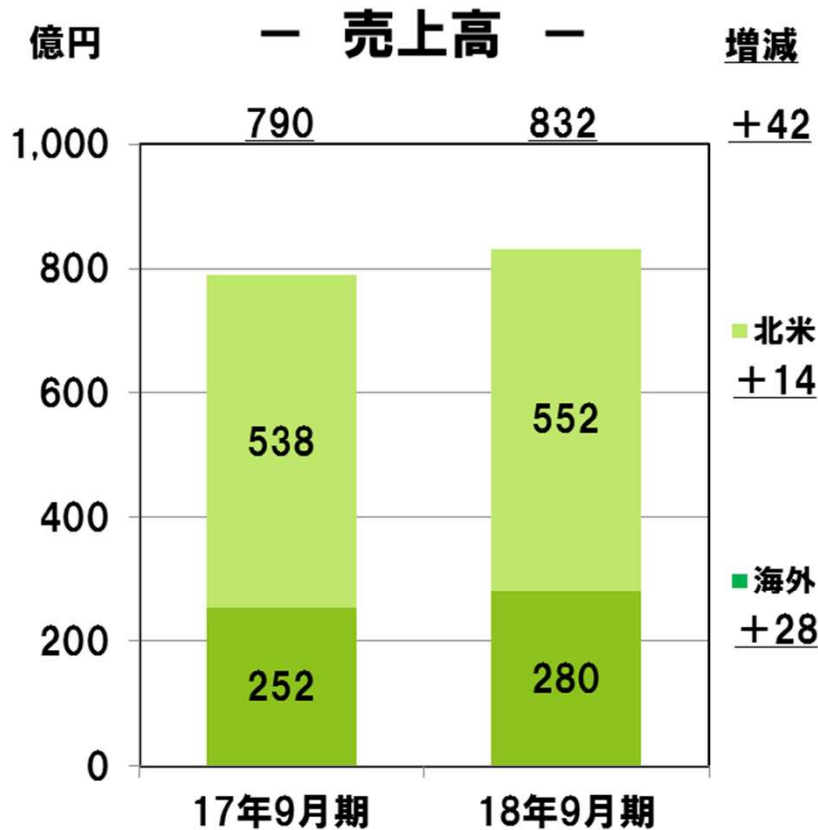


3 - . 海外セグメント

事業概況:

[海外] タイペットフード事業、日本産水産物の輸出事業、NZ操業漁船追加による売上増も、NZおよびAUの漁獲が振るわず、また米ドルに対する円高の影響により、増収減益。

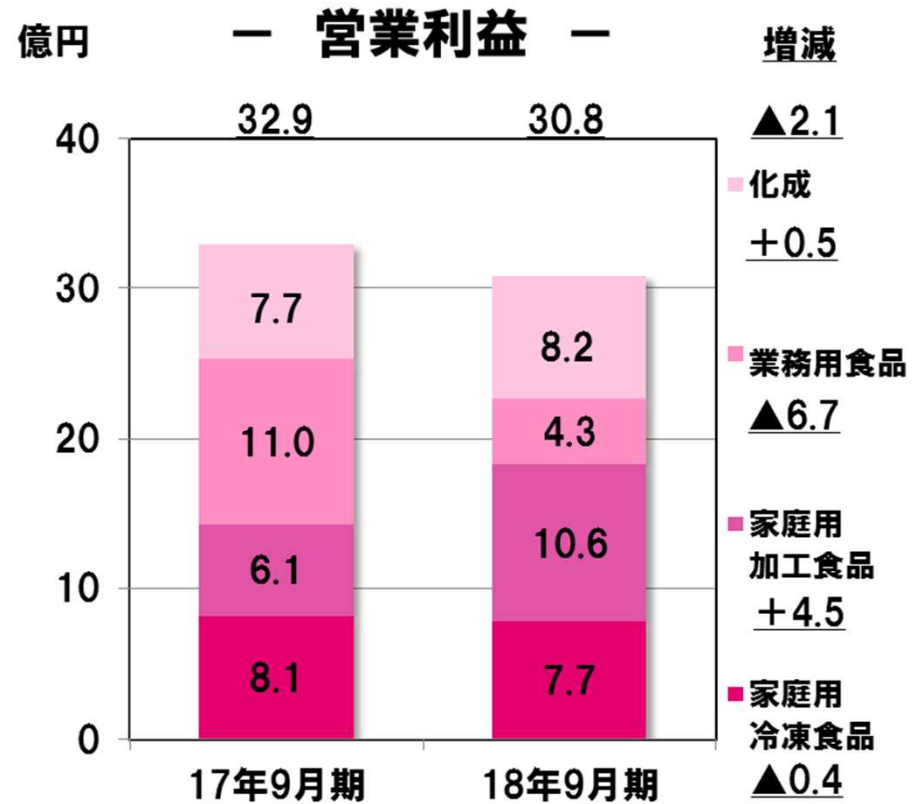
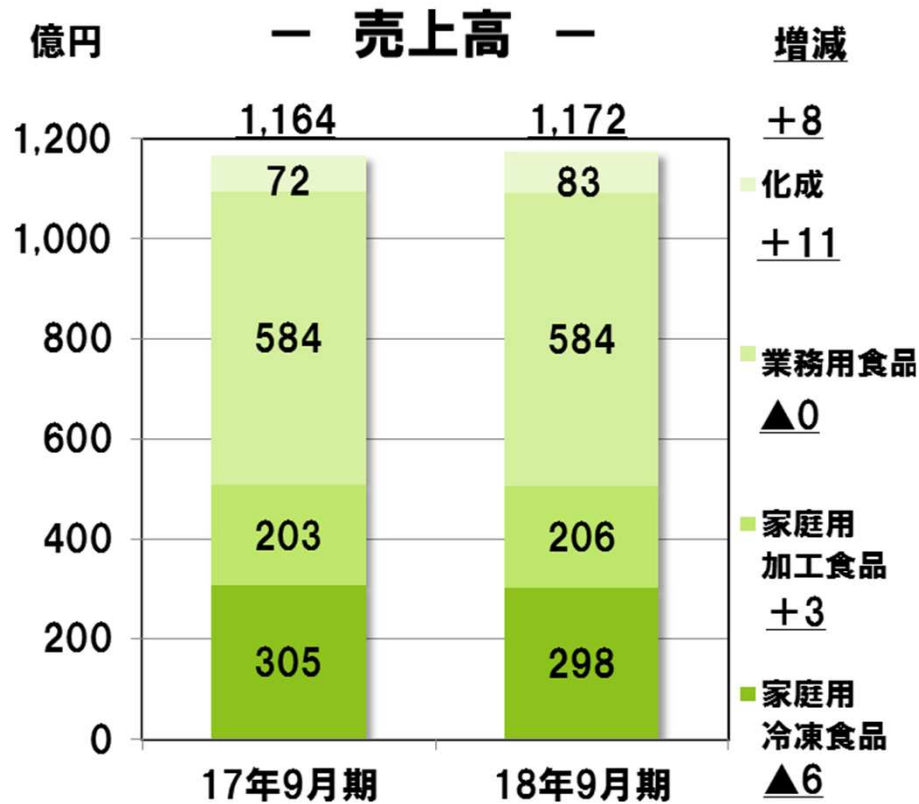
[北米] 助宗すりみの効率的な生産と日欧米主体の順調な販売、およびエビ・タコなど欧州での販売拡大により、増収増益。



3 - . 加工セグメント

事業概況:

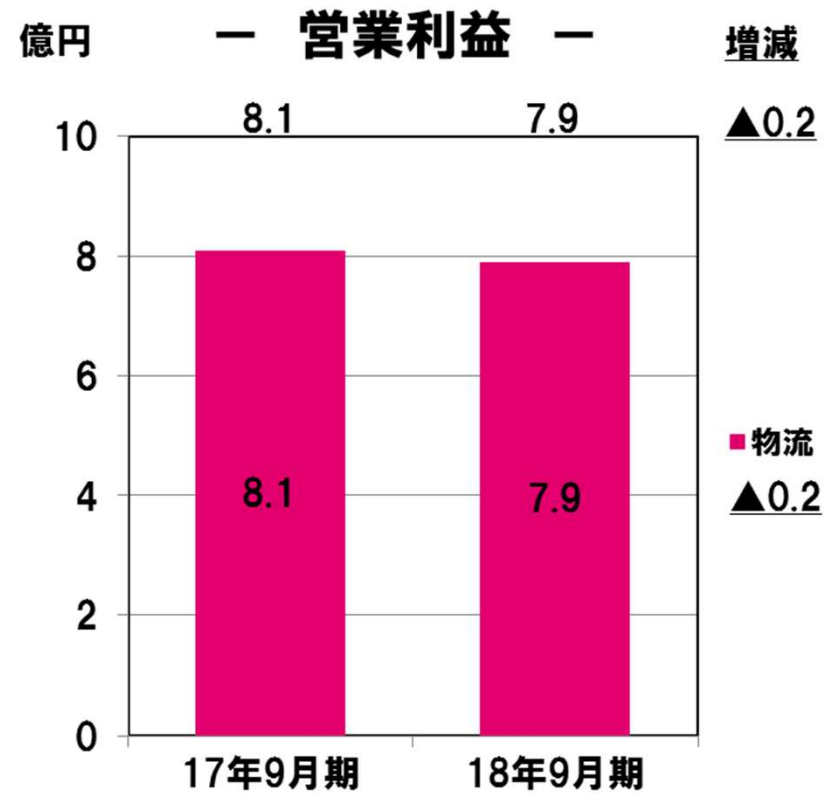
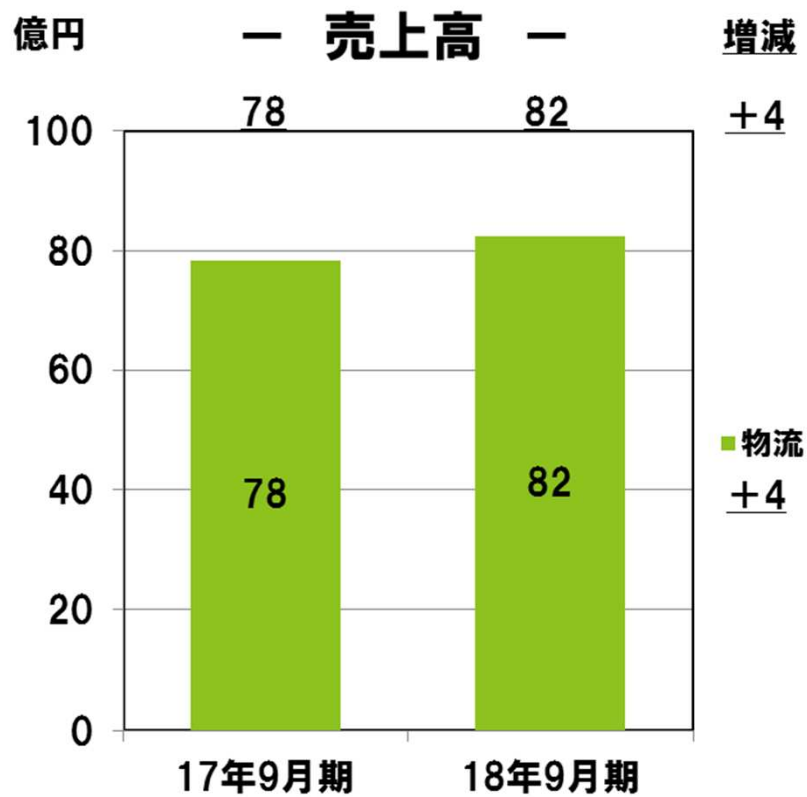
[家庭用冷凍食品] 食卓惣菜向け商品や冷凍野菜の販売は増加も、お弁当のおかず向け商品販売減により、減収減益。
 [家庭用加工食品] さば・さんま・いわしなどの青魚缶詰の需要増、およびデザート事業で収益性改善を重視した販売により、増収増益。
 [業務用食品] 介護食・CVS等の取組みが下支えし売上高は前年並みも、水産原料等の価格高騰、自社工場製品の販売低調により減益。
 [化成] フリーズドライ製品および機能性表示食品制度を追い風としたDHA・EPAの販売が好調に推移し、増収増益。



3 - 物流セグメント

事業概況:

積極的な集荷活動による取扱貨物の増加や輸配送事業の伸長により増収も、燃料調整費の上昇に伴う動力費の増加や労務コストの増加、平和島物流センターの新規稼働に伴う賃借料の増加等により、営業利益は前年並み。



4. 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	18/9末	18/3末	増減		18/9末	18/3末	増減
流動資産	3,192	2,922	270	流動負債	2,300	2,198	102
現預金	128	165	36	仕入債務	413	368	45
売上債権	1,254	1,157	97	短期借入金	1,431	1,382	49
たな卸資産	1,661	1,520	141	その他	456	448	8
短期貸付金	5	7	2	固定負債	1,674	1,568	106
貸倒引当金	4	4	0	長期借入金	1,384	1,278	106
その他	147	76	71	その他	290	290	1
				負債合計	3,974	3,766	208
固定資産	2,222	2,244	22	株主資本	1,138	1,072	66
有形固定資産	1,381	1,384	4	資本金	200	200	-
無形固定資産	212	219	8	剰余金	939	872	67
(内 のれん)	86	91	6	自己株式	1	1	0
投資その他資産	630	641	11	その他の包括利益累計額	67	83	16
				(内 為替換算調整勘定)	14	7	21
				非支配株主持分	235	246	10
				純資産合計	1,440	1,400	40
資産合計	5,414	5,166	248	負債純資産合計	5,414	5,166	248
				自己資本	1,205	1,155	50

Thank You



MARUHA NICHIRO

海といのちの未来をつくる

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します